



謹賀 新年

明けましておめでとございます。

皆様方におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、コロナ禍における新しい生活スタイルの実践や営業時間短縮などのコロナ感染症対策、資源ごみリサイクルへの取り組みをはじめ、日頃から町政に

する深いご理解とご協力を賜り衷心よりお礼申し上げます。

昨年末に、町民の皆様の信任をいただきまして、引き続き町長としての任を仰せつかることとなりました。その責任の重さに身を引き締めながら、町民の皆様の期待と信頼にお応えできよう精一杯努力してまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

さて、私は、平成13年12月から町長としての責務を果すべく全身全霊で務めてきておりますが、就任当初は市町村合併という苦渋の判断を迫られる大きな課題に直面し、住民投票の結果「単独」の道を進むことになりました。そういう環境の中に置かれていたことから、町立保育園の民間移管や各種業務を委託から職員対応に切り替えるなど、身を切るような「行財政改革」に取り組むとともに、若者定住や企業誘致に積極的に取り組み、当時としては先進的な事例となる「町有地の定期借地権付分譲マンション」を民間活力で実現するとともに、地域資源活用型

の(株)ストーンワークスや(株)おさき町鰻加工組合をはじめ多くの企業と立地協定を締結することができました。

また、大隅半島は交通の便が悪く定住促進や企業誘致・交流人口増加の足かせとなっていたことから、関係自治体等と連携し、「東九州自動車道の整備」と併せて「新たなインターチェンジ設置」実現に向けた努力を根気強く重ねてきた結果、町内に2箇所インターチェンジが開設されました。特に、野方インターチェンジは「地域活性化インター」として後付で認可されたものですが、道の駅の整備や高速バス(鹿児島空港便と博多・糸島便の2路線)運行開始、企業立地など、その役割を十分果たしているように思います。

更に、鹿児島空港から車で約1時間、鹿児島市内から約1時間30分での往来が可能となり、利便性が向上したことにより、旧県立有明高校跡地に整備されたジャパンアスリートトレーニングセンター大隅(鹿児島県が整備したアジアトップレベルの

陸上トレーニング施設)や、本町がくのに松原に整備したクロスカントリーコース等を活用した陸上競技合宿者数も格段に増加しており、私のめざす施策の一つである「陸上競技の聖地実現プロジェクト」も着実に進んできております。

次に、環境問題についてですが、当時の3町(大崎町・志布志町・有明町)で構成する一部事務組合で運営していた「ごみの埋め立て処分場」が満杯となる時期が近づいてきていたことから、その延命化という課題解決をきっかけに、住民・衛生自治会・リサイクルセンター・行政の4者が強い連携のもとに、いち早く「ごみの分別」に着手し、12年連続リサイクル率日本一を達成するなどの実績を積み重ねてきており、この「大崎リサイクルシステム」と言われる独自のリサイクルシステムの指導・助言をインドネシアのデポック市やバリ州、ジャカルタへの技術協力として実施してきております。こういった取り組みが評価され、平成30年には